



株主の皆さまへ

第**56**期

年次報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

旅でもっとつながる世界へ。
好奇心でもっと感じる世界へ。



まっぷるリブ

DIG JAPAN!

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の当期（第56期 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の事業活動をご報告申し上げます。

当期（56期）の業績

当社グループにおける当連結会計年度の業績は、電子売上においては、PND（簡易型カーナビゲーション）市場が飽和状態となりつつあり売上が急激に減少したことにより、電子売上の売上高は、前連結会計年度に比べ5億61百万円減少いたしました。また、市販出版物では、新国内ガイドシリーズ『tabitte』などを新刊出版し、売上を伸ばしてまいりましたが、第4四半期に想定を超える旧年度版の返品が発生しました。これにより市販出版物の売上高は、前連結会計年度に比べ8億90百万円の減少となりました。一方で、広告収入におきましては、「ことりっぷ」ブランドに関する売上を獲得いたしました。これにより売上高合計は前連結会計年度に比べ14億75百万円（10.6%）減少し、123億95百万円となりました。

損益面におきましては、売上高の大幅減少に加え、販売費及び一般管理費での人件費、広告宣伝費、研究開発費の増加、新ガイドシリーズ出版に伴う原価発生やカーナビ向けデータのメンテナンス費用の増加より、営業損失が9億34百万円となりました（前連結会計年度は、営業利益6億59百万円）。これに伴い、経常損失は8億87百万円となりました（前連結会計年度は、経常利益6億99百万円）。

また、当社グループの劇的な事業環境の変化と売上減少、当社の事業方針の変更を受け、当社グループの固定資産の減損について検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、特別損失として、58億68百万円を減損損失として計上いたしました。またそれに加えて従来計上していた繰延税金資産についても、その回収可能性を検討した結果、当該繰延税金資産全額を取り崩すこととし、法人税等調整額2億15百万円を計上いたしました。これにより当期純損失は70億42百万円となりました（前連結会計年度は、当期純利益4億33百万円）。

当期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけており、利益配分につきましては会社の業績や経営環境を勘案しつつ、安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。当期の利益配当金につきましては、大幅な当期純損失となりましたが、利益準備金、別途積立金を取り崩すことによって、上記基本方針に従い当初予定通り、前期同様普通配当を1株につき20円とさせていただきます。

次期（57期）の見通し

次期の取り組みといたしましては、『まっぴるリンク』の更なる機能充実を図り出版物の売上増加を目指すとともに、連携したサービスの提供を進めてまいります。また「ことりっぷ」のブランド展開も積極的に進めてまいります。『マップルナビ』においては、主に軽自動車の車載カーナビゲーションに採用されておりますが、機能充実を図り普通車の車載カーナビゲーションへの採用を目指してまいります。また、新規事業である「インバウンド事業」は、今後の事業拡大の可能性が非常に大きい事業であると判断しており、これまでに構築してきた情報、技術をフル活用し、訪日観光客にとって利便性が高く、お得な情報を獲得できるサービスを提供し、有力海外企業と提携しそのサービスを広く普及させていきます。これにより訪日観光客に向けた情報発信を必要とする企業に対し、その機会を提供できる状況を構築します。

このような方針のもと、次期の業績につきましては、売上高138億90百万円（当連結会計年度比12.1%増加）、経常利益5億40百万円（当連結会計年度は経常損失8億87百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益5億円（当連結会計年度は当期純損失70億42百万円）を見込んでおります。

当社グループは、旅と好奇心で日本を元気にすること、旅を通じて紛争のない平和で豊かな世界を実現することを目指して、社会に貢献してまいります。株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表取締役社長

黒田 茂夫



新国内ガイドシリーズ
『tabitte』



東京都交通局とコラボした
『ことりっぷ都電荒川線さんぽ』

表紙写真

忍野八海から望む富士山

忍野八海は富士山の伏流水を水源とする8つの池からなり、「名水百選」や国の天然記念物にも選ばれている。



当社インバウンド事業の取り組み

初めてでもリピーターでもニッポン満喫！ 外国人目線の訪日観光客向け新ブランド 「DiGJAPAN!」

海外5言語に対応した訪日外国人観光客向けアプリ「DiGJAPAN!」は、2014年11月のサービススタートから4ヶ月を経て、この3月に10万ダウンロードを突破いたしました。

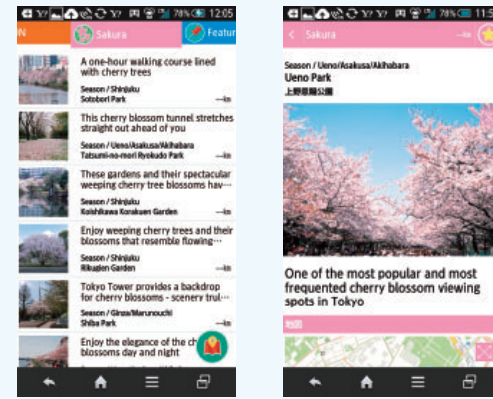
外国人目線で厳選した観光情報を約16のテーマごとに見やすく掲載、定番のスポットから「お花見コンテンツ」などの旬な情報も配信しております。

クーポン情報は、外国人観光客に人気の家電量販店やデパート・百貨店での割引、当社厳選の飲食店での特典などを多数配信し、ショッピングや飲食時にお得に使えるツールとして利用頂いています。

今後は2015年度中に国内約20～30の主要観光エリアを網羅し、地方都市での観光にも対応してまいります。

「DiGJAPAN!」ブランドでは、今後もアプリをはじめとする様々な訪日外国人観光客向けのインバウンドサービスを展開し、ユーザーの利便性向上だけでなく、各自治体や企業にとって効果的に情報発信出来る環境を作り、日本のインバウンド市場の活性化に寄与してまいります。

※「DiGJAPAN!」アプリはiOS (7.0以降)、AndroidOS (4.0以降) に対応しています (2015年4月現在)



「お花見コンテンツ」のアプリ画面



クーポン配信の一例

「大衆点评」・「在路上」に観光コンテンツを提供 海外のメディアパワーを活用した取り組みを開始

中国国内企業が運営する情報サイト/スマートフォン向けアプリケーションに、訪日中国人旅行者向けの情報配信を開始しました。

旅行ブログ大手の「在路上 (117go.com)」には、特に個人旅行で人気の訪問エリアである「東京」「大阪」「京都」の3つのエリアの観光コンテンツとおすすめモデルコースを、飲食系情報サイト最大手の「大衆点评(dianping.com)」には「東京」の観光コンテンツをそれぞれの日本専用ページに提供しています。

このような現地に訴求力を持つ海外企業とのアライアンスを組むことにより、当社単独ではリーチ出来ない訪日潜在顧客層にまで情報発信することが可能になります。

「DiGJAPAN!」ブランドによる自社メディア展開、そして海外企業とのアライアンスによる現地メディア展開を組み合わせることにより、当社ならではのインバウンドメディアソリューションを目指します。



大衆点评-東京エリア (特集ページ)



在路上-大阪エリア (特集ページ)

読者限定無料旅行アプリ「まっがるリンク」全面リニューアル！

当社旅行ガイドブックの読者限定無料アプリ「まっがるリンク」が、ユーザーインターフェイス変更をはじめ新機能追加など全面的にリニューアルいたしました。

●直感的な操作で電子書籍がより使いやすく

直感的に操作いただけるユーザーインターフェイスを導入。トップ画面に登録したガイドブックの表紙が並び、ガイドブックと同じ誌面の電子書籍がすぐに読めるようになりました。

●便利な新機能！「観光案内所」&イベントの日付検索

新機能「観光案内所」では、登録したガイドブックごとに、現地で配布されているチラシや観光パンフレットを閲覧することができます。



●ユーザーごとにおすすめスポットをご提案！

新たな機能として「おでかけ情報登録」が加わりました。

お買い上げいただいたガイドブックをアプリに登録いただいた後、おでかけ日時などを入力すると、時期とユーザーの特性にあった観光スポットをおすすめいたします。



「まっがるリンク」は、「まっがるマガジン」などの当社旅行ガイドブック読者限定のサービスで、電子書籍や掲載されている情報・地図をスマートフォンで閲覧できる無料のスマートフォンアプリです。また、アプリからの宿泊予約で料金が5%OFFになるなどお得なサービスもご用意しています。

※「まっがるリンク」アプリはiOS (7.0以降)、AndroidOS (2.3以降、電子書籍機能は4.0以降) に対応しています (2015年5月現在)



当期の主な新刊商品



tabitte (タビッテ)

電車やバスなどの公共交通を利用して、旅先を隅々まで楽しむ人のための新国内ガイドブック。全20エリアを出版。



ことりっぷ・ことりっぷ海外版

ユーザー投票で1位となった鳥取エリアやニュージーランド政府観光局のご協賛の下制作したニュージーランドなどを出版。



登山

山と高原地図の制作ノウハウを生かし、『みんなの山登り』や『日本百名山トレッキングコースガイド』などを出版。



ことりっぷマガジン [季刊]

「日々のくらしも小さな旅も一緒につながる」をコンセプトに、ガイドブックでは伝えられなかった季節ごとのおすすめの情報を提供。



まっがるマガジン

『北陸新幹線で行こう！』などの話題性のある商品や持ち運びに便利なハンディサイズの商品を出版。



その他

日本の世界遺産を紹介する『日本の世界遺産めぐり』や隠れた絶景を紹介する『絶景からはじまる旅』などを出版。

連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第55期	第56期
	平成26年3月31日現在	平成27年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,701	17,480
固定資産	17,290	10,847
有形固定資産	8,990	6,889
無形固定資産	4,779	325
投資その他の資産	3,521	3,632
資産合計	33,992	28,328
負債の部		
流動負債	3,615	3,882
固定負債	1,372	2,467
負債合計	4,987	6,350
純資産の部		
株主資本	28,401	21,087
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	8,314	1,000
自己株式	△ 525	△ 525
その他の包括利益累計額	603	890
純資産合計	29,004	21,978
負債純資産合計	33,992	28,328

連結貸借対照表のポイント

流動資産

受取手形及び売掛金の減少並びに繰延税金資産の取り崩しを行いました。インバウンド事業のための資金として転換社債型新株予約権付社債により10億円を調達した影響で現金及び預金が増加したため、流動資産は7億78百万円増加し、174億80百万円となりました。

固定資産

有形固定資産は償却の進行に加え、土地に対し19億27百万円の減損損失を計上したことにより、21億円の減少となりました。

無形固定資産はソフトウェアの取得による増加があったものの、データベースに対し33億78百万円の減損損失を計上したことにより、44億53百万円の減少となりました。

投資その他の資産は長期性預金が増加しましたが、退職給付に係る資産ならびに投資有価証券の時価評価による増加がありましたため1億10百万円の増加となりました。

以上から固定資産は64億42百万円減少し、108億47百万円となりました。総資産は56億64百万円減少し、283億28百万円となりました。

負債

返金調整引当金が2億8百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が3億7百万円、転換社債型新株予約権付社債を発行したことにより社債が10億円それぞれ増加したため、負債は13億62百万円増加となり、63億50百万円となりました。

純資産

その他有価証券評価差額金が4億22百万円の増加があったものの、当期純損失70億42百万円、剰余金の配当で3億32百万円、退職給付に係る調整累計額が1億35百万円それぞれ減少したため、純資産は70億26百万円減少し、219億78百万円となりました。

自己資本比率

自己資本比率は7.7ポイント減少し77.6%となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第55期	第56期
	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
売上高	13,870	12,395
売上原価	9,334	9,311
返品調整引当金繰入差額	100	△ 208
売上総利益	4,435	3,292
販売費及び一般管理費	3,776	4,226
営業利益又は営業損失(△)	659	△ 934
営業外収益	76	79
営業外費用	36	32
経常利益又は経常損失(△)	699	△ 887
特別利益	35	2
特別損失	2	5,882
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	732	△ 6,767
法人税等合計	298	274
当期純利益又は当期純損失(△)	433	△ 7,042

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第55期	第56期
	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,287	1,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	316	△ 504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 636	629
現金及び現金同等物の増減額	1,967	1,335
現金及び現金同等物の期首残高	8,479	10,446
現金及び現金同等物の期末残高	10,446	11,782

連結損益計算書のポイント

売上高は市販出版物では新シリーズを出版するなど売上増加に努めましたが、第4四半期に想定を超える返品があったこと、電子売上ではPND市場が飽和状態となりつつあり売上が急激に減少したことにより、前連結会計年度比10.6%減少の123億95百万円となりました。営業損益は、売上高の大幅減少に加え、販売費及び一般管理費の増加、新ガイドシリーズ出版に伴う原価発生やカーナビ向けデータのメンテナンス費用の増加より、9億34百万円の営業損失となりました(前連結会計年度は、営業利益6億59百万円)。当期純損益は、特別損失として58億68百万円の減損損失を計上したことにより、70億42百万円の当期純損失となりました(前連結会計年度は、当期純利益4億33百万円)。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、12億10百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前当期純損失67億67百万円に対し、減損損失58億68百万円、売上債権の減少額10億69百万円によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、5億4百万円の支出となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出64百万円、無形固定資産の取得による支出4億67百万円によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、6億29百万円の収入となりました。主な要因は配当金の支払額3億32百万円、社債発行による収入9億91百万円によるものです。

現金及び現金同等物の期末残高は前期末から13億35百万円増加し、117億82百万円となりました。

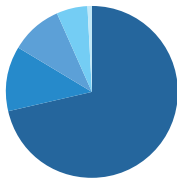
会社概要

商号	株式会社昭文社 (Shobunsha Publications, Inc.)			
創業	昭和35年5月			
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地			
資本金	99億387万円			
従業員数	単体382人、連結458人			
事業内容	独自開発による地図データ・ガイドデータを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売や、デジタルデータベースの企画・制作・販売およびそれらを活用したサービスの提供等「地図・旅行情報提供事業」を展開			
事業所	本社	東京都千代田区	名古屋営業所	名古屋市千種区
	大阪支社	大阪市淀川区	福岡営業所	福岡市中央区
	制作本部	東京都江東区	東京商品センター	東京都立区
	仙台営業所	仙台市若林区	大阪商品センター	大阪府摂津市
	横浜営業所	横浜市西区	埼玉製本センター	埼玉県加須市

株式の状況

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	21,874名

所有者別株式分布状況



所有者区分	持株比率 (%)
個人・その他・自己名義	71.5
金融機関	12.2
外国法人等	9.7
その他の法人	5.8
金融商品取引業者	0.8

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日 (中間配当を行う場合)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.mapple.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475

役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長	黒田 茂夫	常勤監査役	渡邊 裕
取締役	大野 真哉	監査役 (*2)	関 聡介
取締役	内田 次郎	監査役 (*2)	桑野 雄一郎
取締役	熊谷 隆司	*1 社外取締役	
取締役	清水 康史	*2 社外監査役	
取締役 (*1)	安藤 敬太郎		

関係会社

キャンバスマップ株式会社	東京都千代田区
[事業内容] カーナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・企画制作・販売	
株式会社マップル・オン	東京都千代田区
[事業内容] モバイル (携帯・スマートフォン) 向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業	
株式会社昭文社デジタルソリューション	千葉県市原市
[事業内容] マッピング・Webサービス事業及びシステムソリューション事業	

大株主 (自己株式を除く上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
黒田 敏夫	3,574	21.49
黒田 茂夫	1,699	10.22
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	1,023	6.15
昭文社社員持株会	653	3.92
MSCO CUSTOMER SECURITIES	467	2.80
株式会社三井住友銀行	347	2.08
株式会社ファウンダー・マップル	180	1.08
株式会社エムティーアイ	174	1.04
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY-JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	165	0.99
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	163	0.98

※持株比率は自己株式 (679,714株) を控除して計算しております。

株主優待のご案内

当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、平成27年3月末日現在、100株以上ご所有の株主様に3,000円相当の当社商品を進呈しております。

本年は新刊商品である「旅地図 日本」、「日本の世界遺産めぐり」をお送りいたします。

株主優待品は7月中の発送を予定しております。

株主優待品の発送についてお問い合わせ

株主優待事務局 (平成27年9月末日まで)
0120-770-383
(受付時間 9:00~17:00/土・日・祝日を除く)

旅ネタ満載の
「旅地図 日本」



お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。